

令和4年度第2回 青森県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日 時：令和5年3月14日（火）

13時30分～15時30分

場 所：ウエディングプラザアラスカ

地下1階サファイアの間

1. 開 会
2. 青森労働局職業安定部長挨拶
3. 委員紹介
4. 議 題
 - ① 青森県における雇用失業情勢について青森労働局より説明（資料1）
 - ② ハロートレーニング（公的職業訓練）の実施状況について、青森労働局、青森県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部より、実施状況の説明（資料2～5）
 - ③ 令和5年度における青森県地域職業訓練実施計画（案）について、青森労働局より説明（資料6）
 - ④ 令和5年度における公的職業訓練効果の把握・検証分野について、青森労働局より説明（資料7）
 - ⑤ その他・意見交換
5. 閉会

各委員等の意見質疑等

③令和5年度における青森県地域職業訓練実施計画（案）について（資料6）

【委員】

令和5年度事業実施計画（案）につきましては、令和4年度の実績を踏まえ、また、社会、地域のニーズに対応した計画となっていることから、適正、妥当なものと思っております。本県では、少子高齢化が進展しておりますので、引き続き関連機関と連携いたしまして、受講者数の確保、そしてまた就職率を維持されますよう要望いたします。

【事務局】

ありがとうございます。職業訓練の実施についてですね、より効果的そして訓練を修了した方はですね、高い就職率で県内就職されるように、訓練についての広報であったりとか、あとハローワークと連携した就職支援であったりとかを強化してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

【委員】

効果的な詳細な説明ありがとうございます。ここでやはり重要なのは、訓練の効果でどのように出来ているかということで、私がいつも見ているのは応募者どれくらいあるか、結局は就職率ですね。ここで一番問題なのが、応募者が多くて就職率が悪いということは、要するに訓練の効果が上がっていないという話です。ですから応募者、受講応募者どれくらいあるか、就職率はどれくらいから、結果は就職率ですから、ここを見てそれがどうしても上がらないんだったら、訓練のコースを見直していかないというのも考えるそういうのもいろんな意味で大きさと就職率で出てくると思います。よろしくお願いします。

④令和5年度における公的職業訓練効果の把握・検証分野について（資料7）

【委員】

応募倍率が低くて就職率が高い分野ですけれども、ここコースの内容も検討される必要があるかと思うんですけども、介護・医療とか例としては出てきましたけれども、この業界の賃金が低いと応募倍率は低くなってきます。ですから就職が高いというのであれば、通常は経済的には賃金は高くなるわけです。これがなんだかんだいって低いとなればこういう結果になりますね。それとあとコースの内容がどうかということでも応募が低下すると思います。ですからやるのであれば受講する人はそれだけ、期待費用をかけて1か月2か月3か月やりますので、それなりのメリット、データがどれくらいの収入になるかというようにやはり目がいくと思いますので、業界の賃金ということも考えないといけないではないかと思えます。

【事務局】

今のご質問・ご意見のとおり、就職率を向上させるには、就職先のいわゆる求人賃金だったり、業界の賃金であったり、そういったところが大きく左右するものと思います。次年度ワーキンググループの中で訓練コースを選定してですね、検証する場合にそういった賃金状況のところでも十分押さえた上で、今後改善していく必要があるのかどうか、またそういった賃金の状況、業界の状況がうまく求職者の方に伝わった上で訓練を受講しているのかどうかとかそういったところも含めてヒアリングにもっていきたいなと思っています。

結論

令和5年度における青森県職業訓練実施計画（案）は事務局（案）の通り承認される。

令和5年度における公的職業訓練効果の把握・検証分野は、「営業・販売・事務分野」とする。